

WING NEWS



Luigi Trabassi



**HONDA FLYING CLUB
HONDA FLYING SCHOOL**

164

**2000
OCT.**

コングラッチュレーションズ

教官から
ひとこと

●実地試験合格 操縦教育証明



No.1988 堀井 隆さん
平成12年9月8日 JA4025

天候が8月下旬は悪く、予定の試験日より10日程延びてしまいました。その間あせらず待ち9月8日には余裕を持って試験に臨めました。9月下旬にはアメリカのナバ訓練所に移り今後は技能審査員になるべく努力を続けられるとの事です。御体に注意してどうぞ頑張ってください。

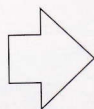
近藤教官

飛行機の限定が変わりました。

H12. 9. 1より、飛行機のライセンスの限定が次のように変わりました。

①旧

航空機の種類	航空機の等級
飛行機	陸上単発機 陸上多発機 水上単発機 水上多発機



②新

航空機の種類	航空機の等級
飛行機	陸上単発ピストン機 陸上単発タービン機 陸上多発ピストン機 陸上多発タービン機 水上単発ピストン機 水上単発タービン機 水上多発ピストン機 水上多発タービン機

なお操縦士の操縦できる等級については従来どおりであるということです。

本田航空が航空機の整備に関して運輸省航空局の 事業場認定を取得しました。

航空法第20条第1項の規定により、平成12年9月13日付で本田航空は航空機整備の事業場として認定されました。

この事業場認定とは、航空会社が国からまかされ自社内で耐空検査を実施できる制度です。これまでは耐空検査当日が天候が悪いと検査が延期になることもしばしばありました。でもこれからは、天気のよい日を選んでテスト飛行を行い、社内検査に合格すると耐空証明を申請し認可されるようになるのです。つまり耐空検査の日の天候が悪いために耐空検査が遅れてしまうようなことが無くなるのです。そして、本田航空では認定の取得を目指して約3年鋭意準備を続けてきたところです。

今回はセスナ172系列型とヘリコプターのAS350系列型の2機種に限定されていますが、将来的には更に対応できる機種を広げていく計画です。更なる整備のプロフェッショナルを目指して、本田航空は整備技術の向上に精進していきます。どうぞ今後ともよろしくお願いたします。



第107号

事業場認定書

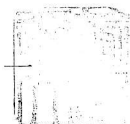
本田航空株式会社
代表取締役社長
津田勇介 殿

航空法第20条第1項の規定により、下記のとおり認定する。

事業場の名称	本田航空株式会社
事業場の所在地	埼玉県比企郡川島町大字出丸下郷53番地1
業務の能力	1. 航空機の整備及び整備後の検査の能力 2. 航空機の整備又は改造の能力
業務の範囲	1. 最大離陸重量が5,700kg以下の航空機（回転翼航空機を除く。）に係る業務 2. 回転翼航空機に係る業務
限定	業務規程の第1章による
有効期間	平成12年9月13日から平成14年9月12日まで
備考	

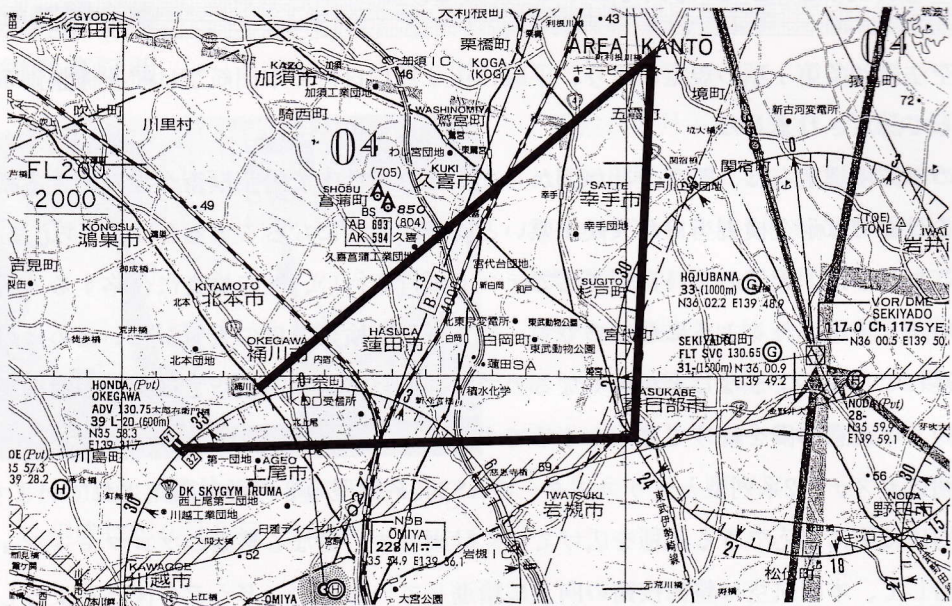
発行年月日 平成12年9月13日

運輸大臣 森田



クラブ大会せまる！ NAVコース決定！

第28回本田宗一郎杯 ホンダ・フライング・クラブ競技大会実施要領



桶川駅（出発）－新利根川橋－春日部駅－本田AP

お待たせしました。第28回クラブ大会のNAVコースが決定しました！ 今年の変針点はどちらも比較的わかりやすいはず……ですが、一度上空から確認しておく、大会当日はロストポジションせずに済むと思いますよ。

また、本田技研工業(株)よりのラクーンコンボ、ラクーン24インチ、携帯発電機を始めとする豪華商品に加えて、今回、理事の方より特別賞として10万円の御寄付を頂き、ますます賞品が充実しています。この号が発行される頃には特別賞の中身も決まっている筈です。皆様ぜひ競技に御参加下さい。

競技に参加されない方々も、地上参加して頂ければ昼食、飲物やバーベキューも用意してあります。御家族合わせての御参加をお待ちしています。

尚、10月1日現在の申込者が12名と例年より少なく、入賞のチャンスが大きくなっています。

1. 実施日時

平成12年10月15日（日）	08:00	受け付け	
	08:30	開会式	
	09:30	競技開始	予備日 平成12年10月22日（日）

2. 実施概要

- (1) 競技内容は、NAV（航法）及び270° スポット・ランディング1回とする。
- (2) 使用機材は、C172を4機使用する。
- (3) 競技参加者は、ホンダ・フライング・クラブ会員及びホンダ・フライング・スクー

ル生。ホンダ・フライング・スクール生は、NAV（航法）を実施した者とする。

- (4) 搭乗方法は、競技者1名と同乗教官1名の2名搭乗で、競技を実施する。競技者乗換の時間を短縮する為に、飛行前点検とエンジン試運転は、同乗教官が実施する。競技会に出場しないクラブ会員又はスクール生を、調整に1名後席に同乗させる事ができる。
- (5) 競技時間は、一人30分程度とする。
- (6) 最大競技者数は、32名とする。16:00までに競技を終了する為に、競技者数を制限する。

3. 実施要領

- (1) NAVコースは、桶川駅出発～新利根川橋～春日部駅～本田APとし、競技者がフライト・プランを作成する。
- (2) NAV終了時、本田エアポート通過後に、パワーアイドルとして270° スポット・ランディングを実施する。
- (3) NAV飛行高度は、桶川駅出発時2000Ft、新利根川橋出発時1500Ftに下げて飛行する。飛行速度は、約TAS95Ktとする。
- (4) 飛行速度調整の為の出力は、回転数2000rpm～2500rpmの間で調整できるが、これを逸脱した場合は、減点-5点とする。これは、同乗教官が判定する。
- (5) NAVの変針方法は、変針点通過後直接次のコースに旋回するCut方法とする。一度コースを離れてから、次のコースに入り直してはいけない。後続機との、セパレーションを確保する為に変針をすみやかに実施する。
- (6) NAV実施時のセパレーションは、2分間隔とする。約3マイルのセパレーションを確保する。
- (7) NAV実施時、コース修正の為の方向変更は、最大30° とする。30° を超えた場合は、減点で-5点とする。到着予定を調整する為の、大きな方向の変更は制限する。
- (8) NAV競技は、桶川駅を出発後に、本田エアポートの到着予定時間を報告し、春日部駅を出発した後、報告した到着予定時間通り、本田エアポートに着くかどうか確認しながら飛行するもので、その精度を競うものである。
- (9) 270° スポット・ランディングは、NAV終了後ウエスト側のパターンを使用して実施する。もし後続機と重なった場合は、一度ブレイクしてからセパレーションを確保して実施する。
- (10) NAVの時計は、正確な時刻を示す時計を大会本部に置き、飛行前に競技者に貸与する。
- (11) NAVは、飛行機に搭載している機器以外は使用してはいけない。(例 携帯用GPS等を使用してはいけない。但し、航法用コンピューターは使用可能である。)
- (12) NAVでETAの報告は、同乗教官に行い、同乗教官が無線にて報告する。同乗教官は、ETAの計算時に操縦の交代は行わない。
- (13) 天候等の理由で所定のNAVコース及び高度が実施要領どおりできない場合は、審判と同乗教官の協議により実施要領の変更を決定する。

※採点要領については運航部までお問い合わせ下さい。

2000年アエロバテックス日本グランプリが 今年も「ツインリンクもてぎ」で開催！

「2000年アエロバテックス日本グランプリ」の前売り券を10%引きにてご提供！

前号でもご紹介しましたが、栃木県茂木町の「ツインリンクもてぎ」で「2000年アエロバテックス日本グランプリ」が

10月20日（金）（オープニングセレモニー、公式練習）

21日（土）（予選、エキシビション）

22日（日）（決勝、エキシビション）の日程で行われます。

出場候補機種は、EXTRA 300S（ドイツ製）、SUKHOI 26、SUKHOI 31（ロシア製）、ACRO EZ（フランス製）の世界のアクロ機を駆使し、競技者は、ロシア3名、リトアニア、ハンガリー、アメリカ、チェコ、ドイツから各1名の世界のアエロバテックスパイロットの8名が出場予定されており妙技を披露します。

本田航空受付では前売券を10%OFFで販売しています。どうぞ御利用下さい。

■出場機体について

- アエロバテックスで使用する飛行機は、競技用として特別に設計された機体であり、特別な性能を持っています。ボディにはカーボン複合材が使用され、機体重量を軽減し、±10Gにも及ぶ荷重に耐えられる強度剛性を備えています。
- エンジン水平対抗、または星型エンジンです。機体重量に対する馬力を比較すると、通常の軽飛行機は6kg/HPですが、競技機は1.8~2.4kg/HP動力性能が極めて高くなっています。その分加速性が良く、競技中の機体のバランスを回復させるパワーがすばやく得られます。また、背面飛行、旋回など、どんな飛行姿勢でも、エンジンオイルが途切れなく供給されるよう設計されています。
- 装備についても徹底的に軽量化が図られ、着陸を容易にするための減速装置である主翼フラップがありません。
- 一般的な飛行機の翼は揚力を得るために中心部分が上向きになっていますが、競技機の主翼は左右一直線、上下対象の形状になっています。これは背面飛行時のバランスを取りやすくするためです。さらに、主翼のエロン（補助翼＝きりもみの回転力を生む）や、方向舵（上昇・下降翼）などは、面積、作動角度などすべて大きく設計され、俊敏な運動性能が可能になっています。

ミレニアム フライト 2000 大成功!!

予想以上に多数のクラブ員の方にご参加いただき小委員会一同感激致しました。浜尾会長の発案から生まれた「ミレニアム フライト 2000」も、クラブ員・本田航空・理事会と多くの方のご協力をいただき、大成功を収める事が出来ました。これにより、理事会、本田航空共に貴重な経験・データを得る事となりました。大変ありがとうございました。



抽選から外れた方、お仕事の都合で参加出来なかった方には、お詫び申し上げますと共に、今後は、第二、第三の楽しい企画をご用意出来ます様、なお一層努力する事をお約束します。

ミレニアム小委員会一同



いざ/UNIT 1 出発



ラストパイロット関野さん

2000年のミレニアムを記念して計画された日本一周2000マイルのフライトは9月13日に無事終了しました。全国を10のユニットに分け、各ユニット10名ずつの合計30名の参加で、ホンダエアポートを出発、北は北海道函館まで、南は種子島、屋久島までの経路をフライト。又、途中のローカルフライトでは上五島、小値賀、福江を始め、めったに行かない薩摩硫黄島などにも行きました。

- ・実施期間 2000年8月17日(木)～9月13日(水) 28日間
- ・ミレニアムフライト 参加者30名(3名×10ユニット)飛行時間33時間35分
- ・ローカルフライト 参加者21名 飛行時間17時間05分

ミレニアム FLT 体験記 ①

クラブ員寄稿



UNIT-3 (秋田-新潟)

No.1985 吉田 信章



UNIT-3組



田沢湖かな

今回、ホンダ・フライング・クラブ、ミレニアム2000に参加させていただきました。UNIT-3、秋田～山形を私が、山形～佐渡を與川さん、佐渡～新潟を河野さんが担当しました。(Local flightでは、柴田さんも参加) 天気にも恵まれて? 素晴らしい経験ができました。一端を少しでも紹介したいと思います。

秋田空港で、RADIO見学をし、情報官をメンバーが質問攻めにしていた。ところが、何を聞いたらよいかわからなかった私は、なぜか、REDL(AIM 1-12)に意識が集中していた。今、思えば、秋田といえば、「秋田美人」。期待していたのに、耳に入ってくるのは、メンバーの渋い声。きれいなREDLにやすらぎを求めているのかも? フライト中は、右も左もTCU(AIM 8-10)それを抜けると、また、TCU。あまりにも雲をよけすぎてどこを飛んでいるのかわからなくなり、助けて、VOR/DME! それが私のミレニアム2000でした。来年の「フライト21」(かつてに命名)には、みなさん、挙って参加されてはいかがですか?

最後に、ミレニアム2000の準備、調整をしてくださった方々、並びに、同行して下さった教官方に御礼申し上げたいと思います。「ありがとうございました」



新潟空港



ごきげんな吉田さん



ミレニアム2000フライトに参加して

UNIT-4 (新潟—八尾)

No. 5601 西久保 行重



UNIT-4組



福井空港

8月26日晴れ。大宮駅発AM6:34の新幹線で、今回UNIT-4に同行する吉田さん、清水さんと、いざ新潟へ！。新潟駅で今回同乗する石戸教官と合流して新潟空港へバスで向かった。私たちの径路は新潟→富山→福井→八尾をフライトする。トップパイロットは私が受け持ち新潟→富山をフライトしました。昨夜から頭に寄ぎるのは何かの間違いで隣の国に行ってしまう、自分の所でこのミレニアムフライトが途中で終了してしまう事だけはしないようにと思いつつ、Towerのある新潟APの憧れの「cleared for take off」をもらい、かなり緊張しながらTAKE OFF! クルーズに入って教官から「景色も楽しんで下さいよ！」の一言にリラックス。気流も安定しており、直江津あたりから美しい海岸線をフライトする。途中の親不知などを見ながら、隣の国には行かずに富山APに無事に着陸する。セカンドパイロットの清水さんの富山→福井とサードパイロットの吉田さんの福井→八尾は後部座席でのんびりと過ごし、無事に八尾APにLDGした後にローカルフライトで1泊の予定で南紀白浜APに向かった。南紀白浜APにLDGしたのはPM6:00。民宿に泊まり生ビールで乾杯！ 翌日、八尾APまで美しい海岸線を見ながらフライトをした後、私がまだ行った事のない関空から東京に向かい、家に帰って大阪名物HŌRAIのブタマンを食べて、今回のミレニアムフライトは終了した。2日間でこれだけの箇所に行けた事。今回、行った空港は私が初めて行く所であった事、色々と経験出来た事は、何よりもこのミレニアム2000フライトを計画された皆さまと、本田航空の皆さま、そして今回同行しました、石戸教官、吉田様、清水様、JA3938の御陰だと思っています。本当に楽しいミレニアム2000フライトでした。

RJSN 260000Z 18008KT 10KM FEW030CU BKN/// 31/22 Q1011/A2987

新潟

RJNT 260044Z VRB02KT 15KM FEW045CU 33/19 Q1012/A2989

富山



富山の町並



絶好調な西久保さん



ニュージーランドでタイガースを操縦した

No.1639 丹羽 俊彦

先日のお盆休暇を利用して、友達6人とニュージーランドへスキーに出かけた。スキー靴を持ってはいるけれども、心中密かに期するところはニュージーランドの友人から聞いていたところの、ワナカでのタイガースのフライトであった。

成田からNZ航空で約11時間でクライストチャーチに着き、そこから国内線に乗り継ぐ予定が、クイーンズタウンの空港の不具合からインバカーギルに連れて行かれ、そこからバスに約2時間程揺られてやっと目的地のクイーンズタウンに到着した。目の前に湖が広がり、山々に囲まれた静かな町であった。

リマーカブルスキー場とハリスマウンテンでのヘリスキーを体験していささか疲れた私は、グループを離れてワナカへ出かけることにした。ワナカはクイーンズタウンから約80kmのところであり、夏になると大いに賑わう湖のほとりのリゾートタウンである。

当初私は多少値段ははるけれどもタクシーで往復するつもりでホテルの副支配人に相談したところ、俺が良い知恵を出すからちょっと待てとのことであった。

夕方に連絡があり、「俺の友達を紹介する。彼は用事があるワナカに行く予定でいて、連れていってくれると言っている。」と吉報をもたらしてくれた。早速お願いすることにして、翌朝、ホテルのフロントで待っていると、副支配人が迎えにきてくれた。彼の車で走ることしばし、湖のほとりに立つ小奇麗な家に案内された。家の中に招き入れられると、先ず目についたのは壁に飾られた木製のプロペラであった。紹介された友達はタッパー(Tapper)さんと言う、後で知ったのだがNZでは名の売れたフライヤーであり、奥さんもパイロット、息子さんはハンググライダーの世界ランキング20位に位置するというし、セスナ182とロビンソンR22を羊牧場の一角にある格納庫に保有する、まことにうらやましいフライヤー一家であった。2人に暖かく迎えられて私の固くなっていた気持ちもすっきり楽なものに変わっていった。

羊の群れを眺め、山道に行く事しばし、目の前にワナカ湖が見えてきた。飛行場の標識に従って右折、目指すワナカ飛行場のBi Plane Adventure社に到着した。

ちょうどタイガース機は飛んでいるところで、待つ間にNZ Fighter Pilots Museumに案内された。タッパー氏の顔でフリーとのこと。館内にはスピットファイヤー、ハリケーンが展示され、ノモンハンで日本の97式戦闘機と戦ったソビエトのI-16戦闘機も置かれていた。これらは全て飛行が可能であり、エアショーには揃って飛び回るとのことであった。この事については後で又触れることにしよう。



ワナカ湖上空を飛ぶタイガース

真冬であるから、先ずオーバーオールを着込み、その上に厚い羊皮の飛行服を着て、布の飛行帽にヘッドホンを付け、ゴーグルをつけると何となく戦闘機乗りになった気分となる。前方のシートに座り、コードを結び、安全ベルトを締めて計器を見る。正面の大きなコンパスが先ず目につく。記念写真を撮ってもらう。

後席のパイロット、マーチン氏は機体を無造作にコンクリートの滑走路から草の生えた滑走路に走らせる。前は良く見えない。「離

陸良いか」の声に「離陸よし」と答える。草地の滑走は機体が軽いこともあるのか、柔らかく感じられる。

空気に乗ったという感じで離陸する。飛行張線が唸る。開放座席であるから風はもろに吹きつける。少し顔を横に出すと頬が痛い。しかし、飛んでいるという実感が湧いてくるのが不思議である。

湖の上でマーチン氏が肩を叩いて、「操縦してみろ」という。操縦桿を握ると意外に固い感触が伝わる。対岸の雪の峰を目標に水平直線飛行に入る。タイガースは静かに飛んでくれる。旋回に入れて少し滑ると張線が気にいらぬというように唸るので直ぐ分かる。しばし静かな飛行の後、パイロットに操縦桿を返すと、彼は急旋回、急降下、等のタイガースの軽快な性能の一部を示してくれた。

後で聞いたところでは、タイガース機は人間の耐えられるGでは平気な頑丈な機体であるとのこと、さすがイギリス航空隊の練習機で長年使用された訳である。

パイロットは草地の飛行場のダウンウインドからベース、ファイナルと滑らかに降下して進入、ふわりという感じで接地させた。風の音が静かになり、私の初めてのオープンコックピットでの飛行が終了した。

ワナカのFighter Pilots Museumの紹介

この博物館には第二次大戦頃からの機体が多く集められている。先に一寸触れたポリカプロフ I-16等、幾種類かの戦闘機が展示され、P-51 Mustangにも実際に体験飛行が出来る。但し20分間で10万円と少々お高いのは仕方がない。また多くの飛行機野郎が古い機体を大切に保存してそれを飛ばして楽しんでいる。うらやましい限りである。

今年のエアショー(Warbirds over Wanaka)に参加した機体の主なものは次のように多彩である。

第二次大戦軍用機

スーパーマリン スピットファイヤー ホーカー ハリケーン ノースアメリカン ムスタング カーチス キティホーク 三菱 零式戦闘機 ポリカプロフ I-16

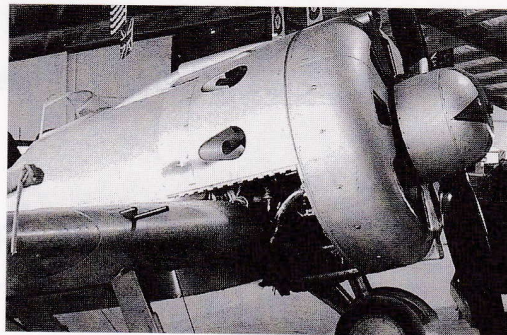
ジェット戦闘機

ミコヤン Mig-15 デ・ハヴィランド ヴァンパイア

これらの機体を実際に飛ばすエアショーが2年に一度開かれる。今年の4月に行われたので、次の開催は再来年となる。タッパー氏も是非来いと強く誘ってくれるので、是非その時はNZに飛んで、戦闘機の飛行を眺めたいと考えている。(終)



飛行後の筆者



ポリカプロフ I-16

ホンダエアポート周辺のおいしい店 No.37

紅花路（紅花まんじゅう）の店

「御菓子司 なか郷」

TEL 048-786-7779

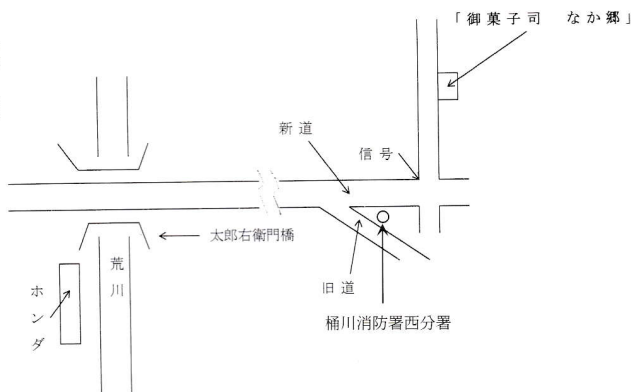
江戸時代からの紅花の産地として知られた桶川宿。

中仙道沿いの村々では、盛夏には鮮やかな紅色の頭花を咲かせ行き交う人々の目を楽しませてきたそうです。

現在でも、紅花は桶川市のシンボルとなっており、本年もホンダエアポート対岸の広大な紅花畑の中で「桶川べにばなまつり」を実施し地元の方をはじめ県内外から多数の来場者に紅花を楽しんでもらいました。

今回は、地元桶川でも評判の和菓子の店「御菓子司 なか郷」を皆様にご紹介させていただきます。

特に桶川名産紅花を和菓子に取り入れた、紅花まんじゅう“紅花路”は絶品です。桶川ホンダエアポートのお土産に是非一度ご賞味下さい。



新入会員紹介

(敬称略)

フライングスクール

5714 武井 肇 H12.9.5

フライングクラブ

1989 古宇田誠一 H12.9.1

USE CAUTION

操縦練習許可書期限が迫っています（敬称略）

11月中に切れる方

浅倉 幸策 H12.11.09

12月中に切れる方

荒井 勝彦 H12.12.09

飯田 芳之 H12.12.23

斉藤 彰 H12.12.23

山田 伊子 H12.12.23

志賀 吉信 H12.12.23

●申請に必要なもの

住民票（本籍地記載のもの、発行3ヶ月以内）……………1通

練習許可申請書（身体検査を受診する病院でお受取り下さい）……………1通

④申請書の住所及び本籍は、住民票にある通り、丁目、番地等を略さずに書いて下さい。氏名の後部に朱肉印捺印、また、欄外に捨印を押して下さい。シャチハタ印、又はこれに類似した印は不可。

④身体検査は有効期限の1カ月前以降に受けて下さい。申請書の有効期限は1カ月です。手続きに時間がかかる場合がありますので受診したらすぐに、遅くとも有効期限の10日前までに、申請をお願いします。

写真（インスタントは不可）たて3cm×よこ2.5cm……………2枚

④写真の裏側にならず記名して下さい。

申請諸費用……………3,200円

●身体検査の受診場所（事前連絡が必要です）

宮入内科（有楽町交通会館）……………03-3211-4845

中溝クリニック（港区芝浦東芝ビル4F）……………03-3452-4468

国際空港診療所（羽田空港全日空到着ロビー近く）……………03-5757-1122

羽衣内科・小児科（立川市羽衣町1-7-10）……………042-522-5234

東海大学医学部付属東京病院（渋谷区代々木1-2-5）……………03-3370-2321



学 科 講 習

11月	
日付	科目
5日(日)	航 法C
10日(金)	工 学B
12日(日)	通 信A
17日(金)	法 規B
19日(日)	運航一般1
26日(日)	空中操作4

12月	
日付	科目
3日(日)	運航一般2
8日(金)	B I F1
10日(日)	気 象1
17日(日)	空中操作1
22日(金)	法 規4

携行品

学科試験対策：自家用操縦士学科試験問題集（本田航空株式会社編）

※試験対策には問題集とあわせて、下記の携行品もお持ち下さい

航空法規：航空法 AIM 1/50万チャート

航空気象：新・天気予報の手引 AIM

航空通信：AIM VFR交話法

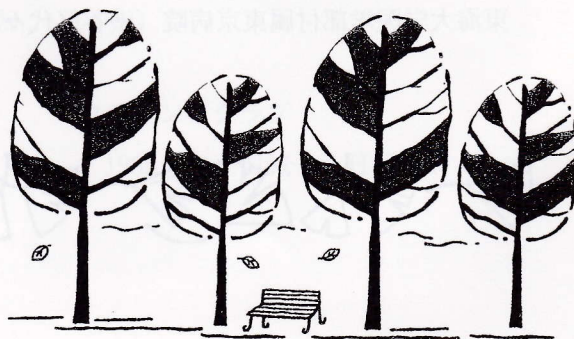
航空工学：航空工学入門 セスナ172取扱法又はセスナ172飛行規程、（あればシステム・スタディ）

航 法：基礎航法教室 航法計算盤の使い方 コンピューター プロッター
1/50万チャート 航法計画書の作り方と飛行の仕方
ナビゲーションログ 操縦訓練マニュアル

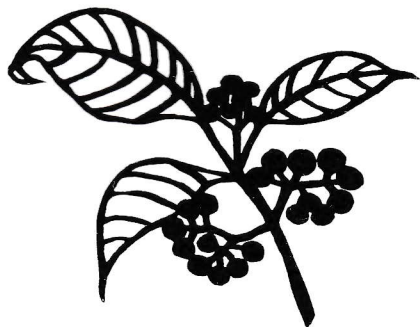
計器飛行：操縦訓練マニュアル AIM 飛行機操縦教本

空中操作：操縦訓練マニュアル 飛行機操縦教本

運航一般：AIM VFR交話法 飛行機操縦教本



クラブ員の皆様へ



- ミレニアムフライトおつかれさまでした。無事に日本一周できたことすばらしいと思います。参加者とJA3938と、バックアップとして御尽力をいただいた方々に感謝します。特に日本各地でお世話になりました空港関係者とフライングクラブの皆様、ミレニアムフライトの無事終了の報告とお礼を申し上げます。
- クラブ大会に参加したことはありますか？まだならば、今回ぜひとも見に来ませんか。日頃鍛え(?)あげた技術を競い合う、白熱した光景は「俺こそ、来年は！」と燃えあがること間違いなし。やっぱりパイロットは技術向上しなくては。

ウィングニュース 164号

発行者/

埼玉県比企郡川島町大字出丸下郷53-1

本田航空株式会社内

ホンダフライングクラブ事務局

Tel 0492-99-1105(代) 〒350-0141

表紙イラスト/板橋 繁男

翼を忘れていませんか!?

青い大空を自由に羽ばたきたかった頃の気持ち、やっと獲ったライセンス、しまい込んでいませんか?。ホンダライン・クラブ/スクールでは貴方が忘れかけている情熱を思い出し、再び強く羽ばたくお手伝いをいたします。

ホンダエアポートは…

- ・都心より約40km
- ・訓練空域内にある夜間照明施設付きの自社飛行場
- ・豊富な訓練機 (C172×6、R22×1、AS350×2、その他)
- ・充実した地上施設 (アドバイザリー局、衛星通信による気象及び航空情報、運航管理システム)
- ・十分なスペースのブリーフィングルーム (全6室) とクラブルーム
- ・経験豊富な教官8名が親切に対応

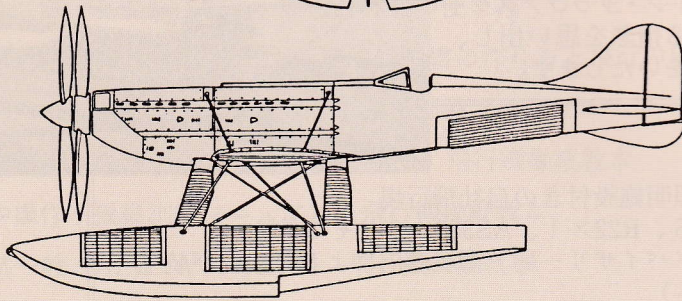
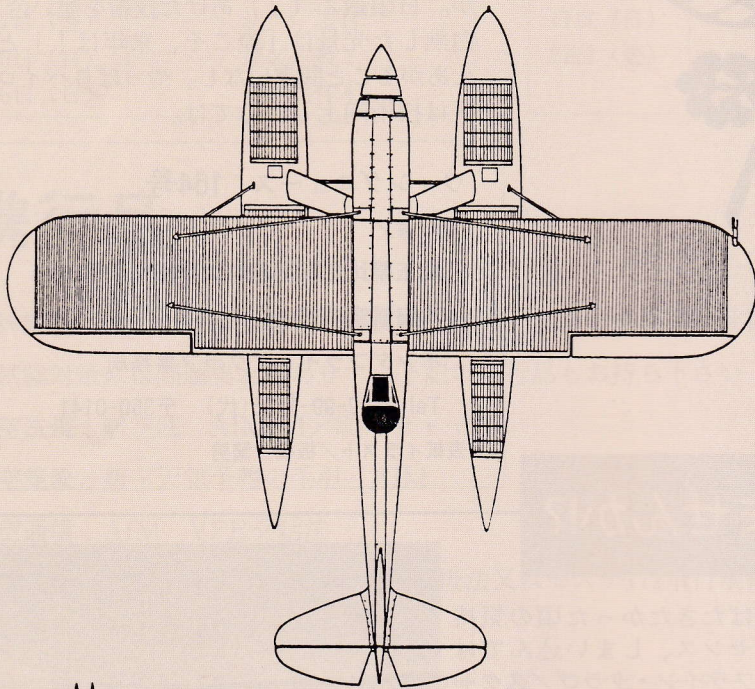
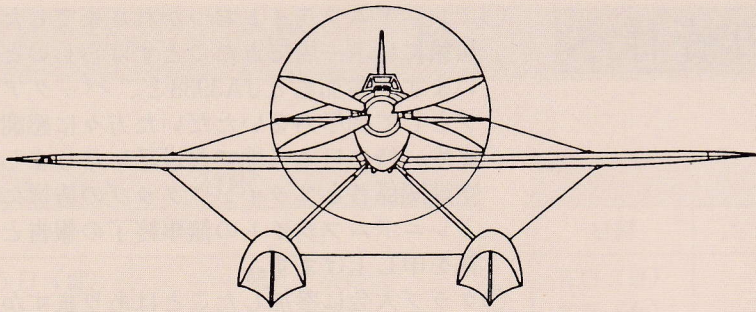


*安全で効率的な訓練をお約束いたします。

* 家用・事業用操縦士コース、国内・国外ライセンサーリフレッシュコースがあり、飛行機・ヘリコプターともOK。もちろんご希望に応じたコースも設定できます。

本田航空 〒350-0141 埼玉県比企郡川島町出丸下郷53-1

HP <http://www.honda-air.co.jp./index-b.html>



マッキ MC. 72 1933 ITALY

エンジン：フィアットAS.6 (3,100hp) 1基、全幅：9.48m、
全長：8.33m、全高：3.3m、翼面積：15m²、自重：2,500kg、
総重量：2,900kg、最高速度記録：709.209km/h、乗員：1名、
1933年4月10日 682.078km/hを記録、1934年10月23日パワー
アップして、不滅の大記録を樹立した。